

Ⅶ 原料需給実績・計画

1 令和5年度こんにゃく原料需給実績

(単位: 精粉20kg/袋)

項目	需 要 量 (消費量)	供 給 量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
年度(R5.11～R6.10)	注2)①	注2)②	注2)③	注2)④	注2)⑤⑥		注2)⑦
計算式	a=f-g	b	c	d	e	f=b+c+d+e	g
原料(国内・輸入) 数量実績 (前年度実績)	239,400 223,900	288,000 273,100	227,500 233,800	3,000 2,500	4,400 2,500	522,900 511,900	283,600 288,000
製品 輸入数量実績 (前年度実績)	15,900 17,200	0 0	0 0	0 0	15,900 17,200	15,900 17,200	0 0
合計 (前年度実績)	255,200 241,100	288,000 273,100	227,500 233,800	3,000 2,500	20,300 19,700	538,800 529,100	283,600 288,000
前年比(%)	105.8%	105.5%	97.3%	120.0%	103.0%	101.8%	98.5%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

- ①原料需要量は、供給量合計から期末在荷量を差し引いて求めた。
- ②期初在荷量は、⑦と同様の方法で算出したR4年度の期末在荷量288,000袋とした。
- ③生産量は、令和5年産生産量(50,900トン)から算出(50,900×1,000×歩留(8.94%)÷20kg)し、227,500袋とした。(Ⅰ-1、Ⅶ-4)
- ④春切り量は、3,000袋とした。
- ⑤原料輸入量は、1次関税枠(88.0トン)及び2次関税枠(0トン)の合計輸入量(88.0トン)から算出(88.0×1,000÷20kg)し、4,400袋とした。(Ⅵ-3-(3))
- ⑥製品輸入数量は、輸入量(10,491トン)から、精粉換算(製品倍率33倍)で算出(10,491×1,000÷33÷20kg)し、15,900袋とした。(Ⅵ-4-(3))
- ⑦期末在荷量は、関係機関からの聞き取り調査を基に推計した。(Ⅶ-3-(1))

2 令和6年度こんにゃく原料需給計画

(単位:精粉20kg／袋)

項目 年度(R.6.11～R7.10)	需 要 量 (消費量) 注2①	供 給 量					期末在荷量
		期初在荷量 注2)②	国内生産量		輸入量 注2)⑤⑥	供給量合計	
			生産量 注2)③	春切り量 注2)④			
計画値計算式	a	b	c	d	e	f=b+c+d+e	g=f-a
原料(国内・輸入) 数量見込	217,700	283,600	230,300	2,500	200	516,500	298,900
(前年度実績)	239,400	288,000	227,500	3,000	4,400	522,900	283,600
製品 輸入数量見込	16,300				16,300	16,300	
(前年度実績)	15,900				15,900	15,900	
合計	234,000	283,600	230,300	2,500	16,500	532,900	298,900
(前年度実績)	255,200	288,000	227,500	3,000	20,300	538,800	283,600
前年比(%)	91.7%	98.5%	101.2%	83.3%	81.4%	98.9%	105.4%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①合計需要量は平成23～令和5年度の実績を基に回帰分析によりトレンドでR6年度を234,000袋と推計した。(Ⅶ-6)

原料需要量は合計需要量から製品需要量(=製品輸入量)を引いて(234,000－16,300)、217,700袋とした。

②期初在荷量は、令和5年度期末在荷量283,600袋とした。

③生産量は、令和6年産(51,400トン)から算出(51,400×1,000×歩留(8.959%)÷20kg)し、230,300袋と見込んだ。(Ⅰ-1、Ⅶ-4)

④春切り量は、2,500袋と見込んだ。

⑤原料輸入量は、令和6年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(-95.5%)と前年度1年間の原料輸入量から算出して200袋とした。(Ⅵ-3-(3)、Ⅶ-5)

⑥製品輸入数量は原料輸入量と同様に、令和6年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(2.6%)と前年度1年間の製品輸入量から算出して16,300袋とした。(Ⅵ-4-(3)、Ⅶ-5)

⑦期末在荷量は、原料供給量合計(516,500袋)から原料需要量(217,700袋)を差し引いて298,900袋とした。

3 こんにゃく原料在荷量実績

(1) こんにゃく原料在荷量実績(令和5年度)の推計

「期初」…令和5年10月1日時点

「期末」…令和6年10月1日時点

● 全農と全原協の在荷量調査結果(精粉20kg袋)

	期初	期末	令和5年度増減
全農麦類農産部	5,539	7,271	1,732
全国蒟蒻原料協同組合	29,478 ※1	21,772 ※1	-7,706
(含 預かり在荷)	63,125	50,839	-12,286
(報告県の自己在荷率)	46.7%	42.8%	
合計	35,017 (A)	29,043 (B)	-5,974

※1… 製造業者からの預かり在荷を差し引いた全原協の自己在荷量。報告県の自己在荷率を乗じたこんにゃく協会による推計値。
(期初報告県…茨城、山梨、宮城)
(期末報告県…茨城、山梨)

● 全製造業者の在荷量の推計

(全こん連の在荷量調査結果)

※2… (精粉20kg袋換算)=(生芋30kg袋数)×30kg×(各年産歩留)÷20kg

	期初	期末	令和5年度増減	期末/期初
生 芋				
生芋30kg袋	56,437	76,032	19,595	
精粉20kg袋換算 ※2	7,568	10,196	2,628	
精粉20kg袋	90,896	88,869	-2,027	
合計	98,464	99,065	601	100.61% (R)

(全製造業者の在荷量の推計)

	期初(※3)	期末(C×R)	令和5年度増減
合計	253,004 (C)	254,547 (D)	1,543

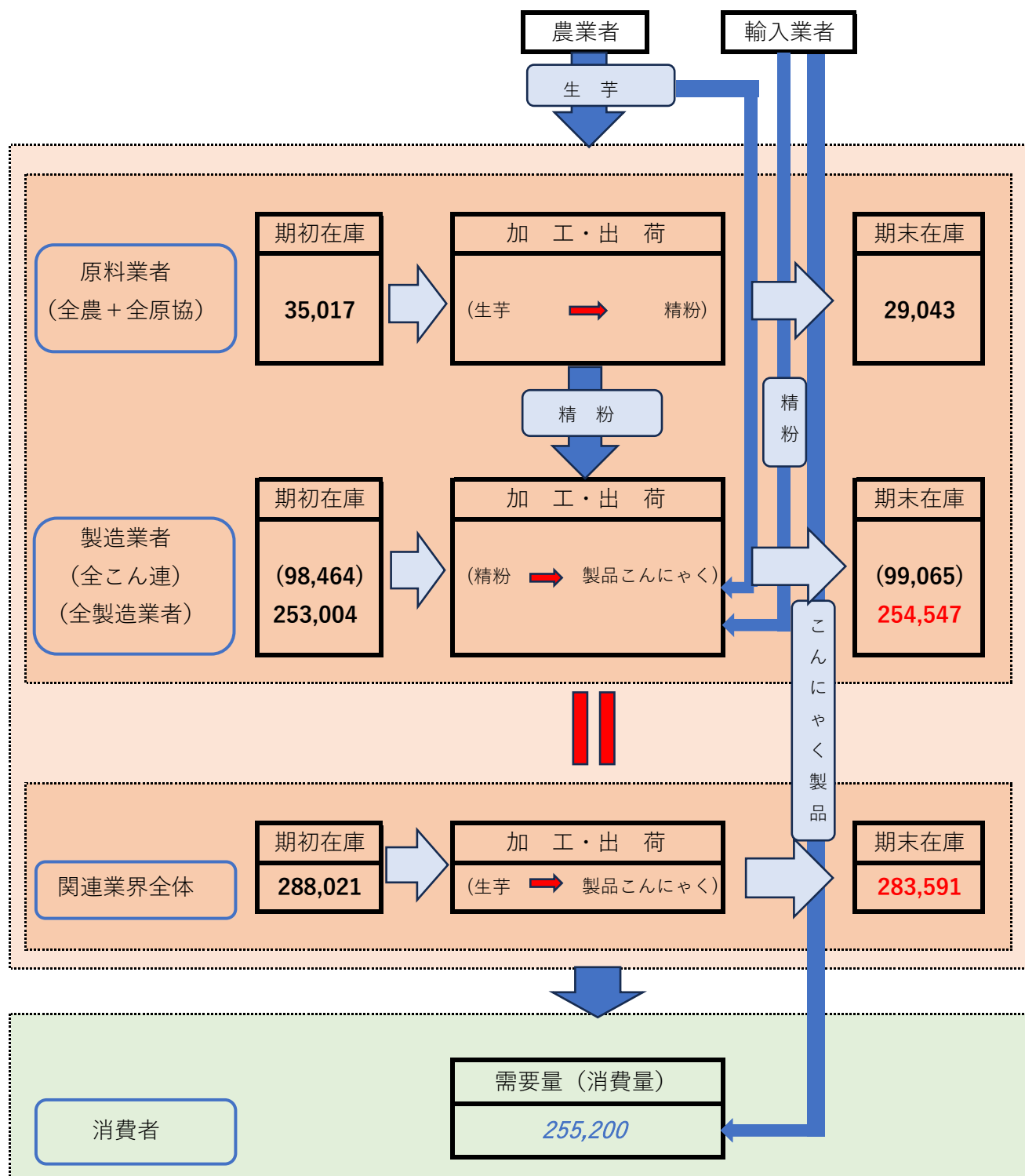
※3… 前年の期末在荷量を期初在荷量にしている。

● 全体在荷量の推計

	期初	期末	令和4年度増減
全農・全原協	35,017 (A)	29,043 (B)	-5,974
全製造業者	253,004 (C)	254,547 (D)	1,543
合計	288,021	283,591	-4,431

(2) こんにゃく原料在庫と流通の関係(令和5年度)

単位：精粉20kg袋



4 こんにゃく原料の加工歩留(品種別)

(単位:%)

		19年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	6年産
在来種	荒粉歩留	16.9	17.3	17.3	16.9	16.9	16.8	17.1	17.100	17.150	17.250	17.750	17.750	19.000	17.500	19.000	19.000	21.000	19.000
	精粉歩留	61.3	59.0	59.5	59.0	58.0	57.9	57.5	56.500	57.500	58.500	61.000	61.000	60.000	58.000	57.000	57.000	57.000	57.000
	生～精	10.4	10.2	10.3	10.0	9.8	9.7	9.8	9.662	9.861	10.091	10.828	10.828	11.400	10.150	10.830	10.830	11.970	10.830
はるなしろ	荒粉歩留	14.2	14.5	14.5	15.1	14.5	14.5	14.5	14.750	14.750	14.500	14.500							
	精粉歩留	58.6	55.0	56.0	55.5	55.0	55.0	55.0	56.000	56.000	56.500	56.500							
	生～精	8.3	8.0	8.1	8.4	8.0	8.0	8.0	8.260	8.260	8.193	8.193							
あかぎ大玉	荒粉歩留	14.2	14.3	14.4	14.1	14.5	14.4	13.7	14.069	14.080	14.080	14.250	14.360	14.360	14.940	14.490	14.490	14.450	14.450
	精粉歩留	58.6	58.8	58.6	58.9	57.6	58.3	59.7	58.250	58.320	58.300	59.000	59.650	59.650	57.260	59.250	59.250	59.120	59.120
	生～精	8.3	8.4	8.4	8.3	8.3	8.4	8.1	8.195	8.211	8.209	8.408	8.566	8.566	8.555	8.585	8.585	8.543	8.543
みやままさり	荒粉歩留				14.9	15.3	15.2	14.0	14.840	14.870	14.870	15.000	14.834	14.834	15.820	15.060	15.060	14.960	14.960
	精粉歩留				60.5	59.0	58.5	61.0	61.700	61.753	61.600	61.600	60.870	60.870	58.820	61.800	61.800	60.500	60.500
	生～精				9.0	9.0	8.9	8.5	9.156	9.183	9.160	9.240	9.029	9.029	9.305	9.307	9.307	9.051	9.051
平均	荒粉歩留	14.4	14.4	14.6	14.3	14.6	14.5	13.8	14.310	14.401	14.401	14.665	14.607	14.607	15.468	14.827	14.827	14.850	14.870
	精粉歩留	58.2	58.1	58.1	58.9	57.6	58.2	59.7	58.894	59.713	59.644	60.405	60.287	60.287	58.196	60.759	60.759	60.200	60.250
	生～精	8.4	8.4	8.5	8.4	8.4	8.5	8.2	8.428	8.599	8.589	8.858	8.806	8.806	9.002	9.009	9.009	8.940	8.959

資料:全国蒟蒻原料協同組合資料から作成。

5 こんにゃく原料・製品輸入量前年対比増減率

こんにゃく年度 (11～10月)	原料輸入					製品輸入				(参考)生産量	
	セーフガード 発令月	年度		11-1月		年度		11-1月		年度	
		輸入量(袋)	増減率	輸入量(袋)	増減率	輸入量(袋)	増減率	輸入量(袋)	増減率	生産量(袋)	増減率
24年度	12月	27,373	-31.7%	6,615	-13.5%	40,582	-8.8%	15,132	-2.3%	284,784	9.7%
25年度		22,138	-19.1%	6,912	4.5%	37,549	-7.5%	14,303	-5.5%	269,824	-5.3%
26年度		26,776	21.0%	9,436	36.5%	32,152	-14.4%	12,114	-15.3%	248,746	-7.8%
27年度		16,566	-38.1%	3,761	-60.1%	28,124	-12.5%	9,883	-18.4%	263,559	6.0%
28年度		16,003	-3.4%	4,200	11.7%	29,283	4.1%	10,728	8.6%	322,009	22.2%
29年度		13,997	-12.5%	3,509	-16.5%	28,903	-1.3%	10,532	-1.8%	286,542	-11.0%
30年度		9,390	-32.9%	2,458	-30.0%	23,696	-18.0%	9,022	-14.3%	246,128	-14.1%
令和元年度		4,529	-51.8%	1,010	-58.9%	19,737	-16.7%	7,638	-15.3%	260,221	5.7%
2年度		6,213	37.2%	1,008	-0.2%	17,947	-9.1%	6,648	-13.0%	241,697	-7.1%
3年度		13,870	123.2%	3,375	234.8%	18,541	3.3%	6,999	5.3%	244,137	1.0%
4年度		2,524	-81.8%	374	-88.9%	17,186	-7.3%	6,739	-3.7%	233,784	-4.2%
5年度		4,400	74.3%	1,100	194.1%	15,895	-7.5%	5,776	-14.3%	227,515	-2.7%
6年度				50	-95.5%			5,929	2.6%	230,251	1.2%

注)原料輸入について、年度累計(4月～)輸入量が輸入基準数量(過去3年平均輸入量の125%)を超えると自動的に、翌々月以降3月末まで通常関税の1/3の追加関税を上乗せするセーフガードが、平成24年12月1日が発令されているので、24年～25年度の11月～1月期対比の増減率に大きな影響が出ているので注意が必要。

4年度についても、原料輸入量が11月までにセーフガードの基準値(4月～3月枠)156トンに迫ったことから12月以降輸入がストップしていることに注意。

6 令和6年度のこんにゃく消費量の推計

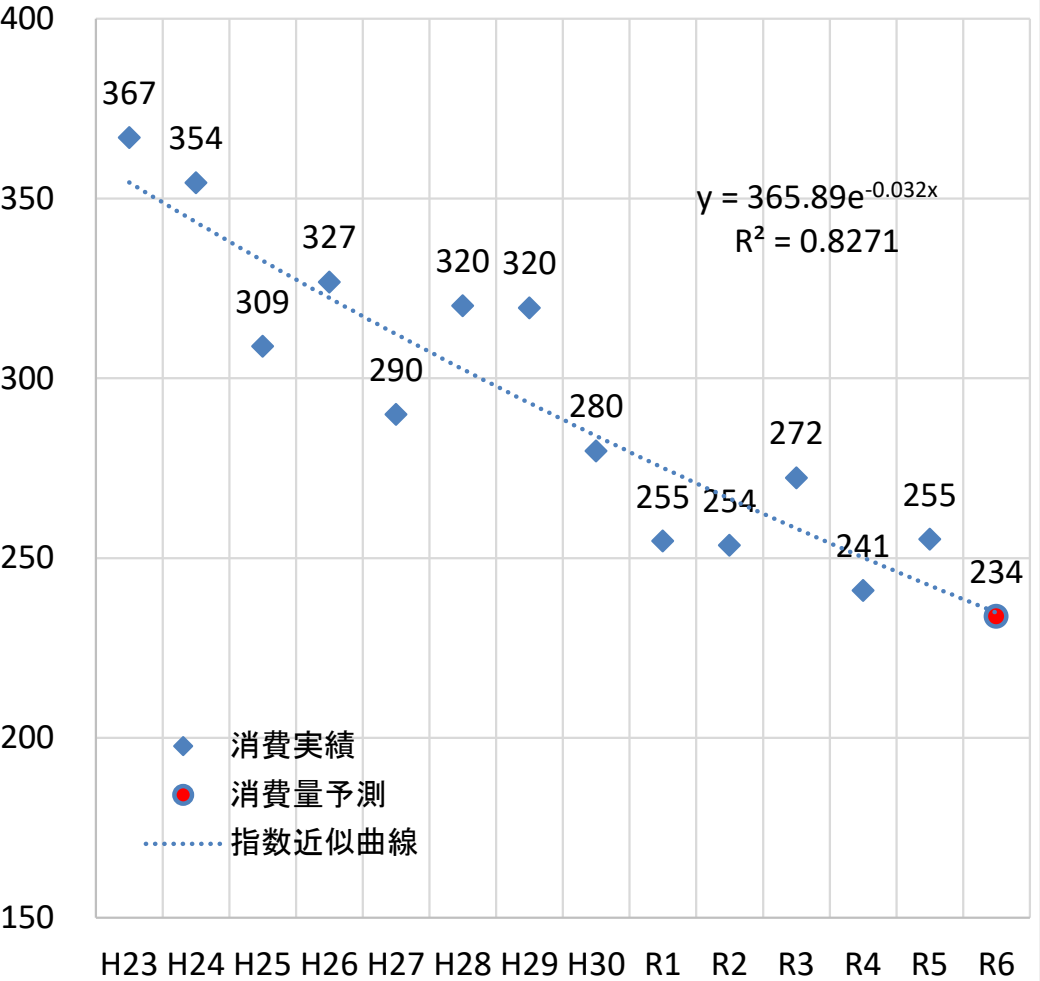
(輸入原料・製品を含めたこんにゃく全体の消費量を精粉換算で推計)

回帰式を用いた予測

実績	年度	消費量 (合計・袋)
	H23	366,997
	H24	354,422
	H25	308,865
	H26	326,775
	H27	289,968
	H28	320,154
	H29	319,576
	H30	279,823
	R1	254,728
	R2	253,612
	R3	272,296
	R4	241,052

予測	R6	234,000
	平成23～令和5年度の実績をもとに指数近似曲線を求め、令和6年度の消費量を予測(右図)	

消費量合計(単位:千袋(※1袋=精粉20kg))



7 令和7年産こんにゃくいも生産計画(県報告)

項目	年産	栽培面積 (ha)								販売量 (t)							
		在来種	支那種	はるな	あかぎ	みょうぎ	みやま	小計	(参考)	在来種	支那種	はるな	あかぎ	みょうぎ	みやま	小計	(参考)
				くろ	大玉	ゆたか	まさり		作物統計			くろ	大玉	ゆたか	まさり		作物統計
福 島	R6実績	2	0	0	0	0	1	3	4	4	0	0	5	0	3	12	25
	R7計画	2	0	0	0	0	1	3		9	0	0	0	0	2	11	
茨 城	R6実績	0	0	0	10	0	7	17	29	0	0	0	213	0	172	385	637
	R7計画	0	0	0	8	0	7	15		0	0	0	160	0	169	330	
栃 木	R6実績	4	0	0	10	0	10	23	31	6	0	0	227	0	138	371	401
	R7計画	3	0	0	9	0	8	20		4	0	0	145	0	88	237	
群 馬	R6実績	0	2	13	1,192	4	1,479	2,690	2,690	0	58	178	22,607	45	25,141	48,029	49,700
	R7計画	0	1	14	1,105	2	1,375	2,497		0	28	188	20,570	29	24,019	44,834	
埼 玉	R6実績	0	0	0	2	0	2	5	3	0	0	0	8	0	6	14	40
	R7計画	0	0	0	2	0	2	4		0	0	0	8	0	6	14	
山 梨	R6実績	1	0	1	6	0	0	7	3	2	0	3	33	0	0	38	10
	R7計画	1	0	1	6	0	0	7		2	0	3	33	0	0	38	
長 野	R6実績	2	0	0	7	0	0	10	9	5	0	0	68	0	0	72	84
	R7計画	3	0	0	7	0	0	11		17	0	0	213	0	0	230	
岐 阜	R6実績	1	0	0	3	0	0	4	5	2	0	0	4	0	0	7	23
	R7計画	1	0	0	3	0	0	4		2	0	0	5	0	0	7	
広 島	R6実績	0	0	0	0	0	0	0	28	2	0	0	0	0	0	2	198
	R7計画	0	0	0	0	0	0	0		2	0	0	0	0	0	2	
合 計	R6実績	10	2	14	1,230	4	1,499	2,759		20	58	181	23,165	45	25,460	48,930	
	R7計画	11	1	15	1,140	2	1,393	2,562		36	28	191	21,134	29	24,285	45,703	
前 年 比	R7／R6	105	50	107	93	50	93	93		175	48	106	91	64	95	93	
構 成 比	R6実績	0	0	1	45	0	54	100		0	0	0	47	0	52	100	
	R7計画	0	0	1	45	0	54	100		0	0	0	46	0	53	100	

注1: 県報告を基に作成。作物統計とは調査方法が異なるので合計数値は合致しない。前年対比の数値として参考にされたい。

注2: 実績・計画の小計にはその他の品種や品種不明の数値を含む。

注3: R6年実績小計欄の右横に「作物統計」の数値を参考に記載した。

注4: 広島県のデータは、系統出荷だけの数値となっていることから、過去の報告値との連続性はない。